

エスディージーズ もっと身近に SDGs

Goals 目標
Development 開発
Sustainable 持続可能な

近年、SDGsという言葉が世界中で注目を集めています。SDGsとは、平成27年に国連で採択された国際社会の共通目標で、持続可能な世界を実現するために17の目標を掲げています。今回の特集では、SDGsの17の目標とJAが行う事業を関連させながら、私たちに何ができるのかを紹介します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsとは

SDGsとは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）から、一文字ずつ取った略称です。SDGsは貧困や飢餓、気候変動といった人類・地球全体が直面する問題を解決し「持続可能な世界」を実現するために2015年に国連で採択された2030年までの達成を目指した世界共通の目標です。キーワードを「誰一人取り残さない」として取り組みます。

SDGsが目指すのは、①地球を守りながら、②全ての人が尊厳を持って生きられる社会と、③誰もが豊かな暮らしを継続的に営むことのできる経済を実現すること。私たちの子や孫、ひ孫、さらにはその先の世代までも、ずっと豊かに暮らしていけるように、私たち自身が今やるべきことを大きく17の目標と169のターゲットで構成し、地球上の「誰一人取り残さない」ことを掲げています。

SDGsの構造



17のゴール

169のターゲット

244の指標

協同組合とSDGs

協同組合は、これまでも貧困や飢餓などの問題に取り組んできたことから、国連によりSDGsを達成するための重要な組織として位置づけられています。JAグループは自らの事業・活動がSDGsの達成に貢献するものであることを踏まえ、JAグループの取り組みを広く発信するとともに、SDGsの達成へ貢献していきます。

協同組合の精神「一人は万人のために、万人は一人のために」は、「誰一人取り残さない」という行動理念を掲げるSDGsと非常に近いものだといえます。

SDGsの中には協同組合の思想がちりばめられており、協同組合の定義や価値、原則の中にはSDGsを先取りした考え方がいくつも埋め込まれています。

☆SDGsを体現したようなミッション

「JA綱領」(一部抜粋)

地球的視野に立つて環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。

異なる協同組合同士の理念によって、多面化、多層化し、一つの目的だけでなく、より多くの目的を達成することに結び付いています。

協同組合に寄せられる期待とは

協同組合の思想と実践が平成28年11月にユネスコ無形文化財に登録されました。これは、協同し参加しながら社会的問題を解決する協同組合の仕組みや取り組みが国際的に評価された証です。

協同組合 × SDGs

協同組合のSDGs達成に向けた取り組みの象徴となるロゴマーク



手を取り合う仲間をイメージし、SDGsカラーホイールを協同組合らしく表現

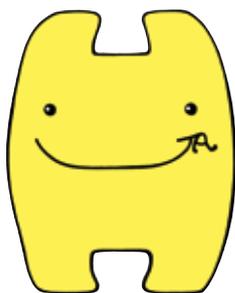
私たちにできることを考えてみよう

実際にSDGsに取り組もうとしても、何から手を付けていいかわからないと思います。まずは皆さんが行動する時、環境や他者に配慮するマナーを習慣付けることから始めてみましょう。

大切なのは現状をしっかりと把握し、自分がしていることをSDGsという物差しで測ってみることです。SDGsを意識することで、見え方が変わりさまざまな事に関心を持つきっかけが生まれます。

実はこれもSDGs

SDGsは、環境を守りながら全ての人が尊厳をもって豊かに暮らしていける社会の実現なんだね。



① 水道の蛇口を小まめに止める



② 食品ロスを減らす



③ グリーンカーテンの設置



④ マイバッグを持参する

食農教育



■野菜苗の無償提供

食農教育に役立ててもらおうと、JA管内の小学校にサツマイモやミニトマト苗、エダマメの種などを提供しています。

■栽培指導

JA女性部と青年部を中心に、地域と協力しながら管内の幼稚園や小学校で田植えや稲刈り、野菜苗の定植・収穫の指導をしています。

■出前授業

小学校等の希望に応じ、豆腐作りのみそ作りなどの出前授業への講師派遣や支援を行っています。



LS × JAいわて平泉

食・環境



■児童養護施設へ農産物を無償で提供

JA青年部が始めた市内の児童養護施設への農産物を無償提供する取り組みは、JAやJA関係組織にも広がりを見せています。

■環境美化活動

JAでは日頃お世話になっている地域をきれいにしようと、事業所ごとにロードクリーン作戦を行っています。ゴミ拾いや草取りをしながらきれいな環境づくりに貢献しています。

■老人ホーム等でボランティア

JA女性部は地域の老人ホームで草取りなどのボランティアを行い、協力し合いながら誰もが暮らしやすい社会を目指しています。



健康・福祉



JA健康寿命100歳プロジェクト

自立して健康に暮らすためには、運動・食事・健康診断が大切です。

運動 介護予防体操やウォーキングを継続開催

食事 JA健康寿命100歳弁当コンテストや乳和食料理教室などを開催

健診 行政と連携し「一日人間ドック」の検査料を助成



介護・福祉

高齢者が住み慣れた地域で安心して生きがいをもって暮らせるように、利用者一人一人に寄り添ったサービスを行っています。

訪問介護・通所介護・居宅支援介護・サービス付き高齢者向け住宅



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOA

未来へつなぐ農業



農業・農村は、私たちが生きていくのに必要な米や野菜などの生産の場としての役割を果たしています。例えば、水田は雨水を一時的に貯留し、洪水や土砂崩れを防いだり、多様な生き物を育み、また、美しい農村の風景は私たちの心を和ませてくれます。また、農村で農業が継続して行われることにより、私たちの生活にいろいろな恵みをもたらしています。

